

## 平成19年度

2007.04.01～2008.03.31

■人口 50,277人  
 男性 24,703人 女性 25,574人  
 ■世帯数 15,236世帯  
 (平成19年10月末日現在)

文化振興を目的に、14年度から工事を進めてきた相良総合センターいづらが完成。落成記念公演の朗読劇「光さす故郷へ」が上演されました。この年、市の花は「アジサイ」、市の木は「茶」に決まりました。全国茶品評会の深蒸し煎茶の部で、マルサダ製茶株式会社が、最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。11月29日、東京都内で、市東京交流会が開催されました。交流会には、静岡まきのはら大使の宮村眞平氏と不破央氏をはじめ、市出身者、市内高等学校の卒業生など129人が参加し、交流を深めました。



1. 相良総合センターいづらが完成 2. 東海四県の自治体で初めてエコアクション21の認証を取得 3. 国道473号相良バイパス菅山・須々木間が開通 4. 初めて「牧之原市東京交流会」を開催 5. 市民が市長マニフェストを検証

## 平成21年度

2009.04.01～2010.03.31

■人口 49,700人  
 男性 24,505人 女性 25,195人  
 ■世帯数 15,423世帯  
 (平成21年10月末日現在)

6月4日、建設地決定から22年、念願の富士山静岡空港が開港。連日、大勢の見学者が訪れ、市民の強い関心と大きな期待が寄せられました。21年度の搭乗者数は51万1329人、搭乗率は66・4割でした。J Aハイナン青壮年部萩間支部が、全国茶品評会深蒸し煎茶の部で農林水産大臣賞を受賞しました。一方で、駿河湾を震源地とする地震が発生。住宅の一部損壊や大規模断水など、大きな被害が生じました。榛原総合病院は、沖繩徳洲会が指定管理者となり、再建に向けて新たなスタートを切りました。



11. 6月4日、待ちに待った富士山静岡空港が開港 12. 8月11日、駿河湾を震源地とした震度6弱の地震が発生 13. 国民文化祭の道フェスティバルを開催 14. 沖繩徳洲会が榛原総合病院の指定管理者に 15. 細江保育園を新築

## 平成20年度

2008.04.01～2009.03.31

■人口 50,134人  
 男性 24,692人 女性 25,442人  
 ■世帯数 15,401世帯  
 (平成20年10月末日現在)

11月7日、市民と市の協働による取り組みがマニフェスト大賞審査委員会特別賞を受賞。翌年度にはマニフェスト推進賞を獲得しました。年が明けた1月30日、31日の両日、全国の主要なお茶生産地の首長が集まる「全国茶サミット静岡大会in牧之原」が緑茶大交流時代の始動をテーマに開催され、茶業振興のためにさまざまな交流を図るとした大会宣言が採択されました。また、あおぞら保育園と静波保育園が完成し、保育施設などの整備を通じた、生涯安心のまちづくりが進められました。



6. まきのはら協働プロジェクトが始動 7. 市民運営のシンポジウム「協働」 8. 全国茶サミット静岡大会が本市で開催 9. 保育園耐震化事業であおぞら・静波保育園を新築 10. 開港を控え、富士山静岡空港で地元感謝デー開催

## 平成22年度

2010.04.01～

■人口 49,313人  
 男性 24,312人 女性 25,001人  
 ■世帯数 15,538世帯  
 (平成22年9月末日現在)

本年度、国道473号相良バイパスの全線開通により、御前崎港と東名高速道路、富士山静岡空港が連結されます。スズキ株式会社相良工場増設など、企業立地の促進、交流や連携の拡大などが期待されます。学校施設の耐震化が完了し、安心して学習できる環境が整います。さらに、地域の防災拠点としても、より一層の安全性が確保されます。前年度末に発生した凍霜害で、茶園は未曾有の被害を受けました。市では、農業者を支援するとともに、静岡牧之原茶の消費拡大と販売促進に取り組んでいます。



16. 本年度、国道473号相良バイパスが全線開通 17. 凍霜害で本市の基幹産業である茶に被害甚大 18. FDAが撤退したJALの路線を引き継ぐ 19. 牧之原よさこいが初開催 20. 茶業界の活性化へ、静岡牧之原茶を大阪で発信